

第12回「県内企業景気動向調査」結果 (平成19年8月調査)

【景気動向調査の要旨】

- ◆ 今期(平成19年4-6月期) 県内企業の業況判断を示すD I値(「自社の業況」D I値)は 20.1(前年同期比)であり、前回調査時点(平成19年5月)より25.3ポイント低下した。「自社の業況」D I値は7四半期ぶりに「悪い」超となっており、県内景気は弱含んでいる。
- ◆ 業種別に見ると、いずれの業種でも大幅な悪化となった。中でも、これまで県内景気を牽引してきた製造業で悪化に転じた。
- ◆ 地域別に見ると、調査開始以来初めて6地域全てで「悪い」超となった。これまで好調だった村山南部・北部で悪化に転じるなど、景気後退の波が広がる恐れもある。
- ◆ 業況の先行き見通しは、自社の業況D I値が 15.9となるなど、引き続き低調に推移する見込み。

【特別調査：設備投資動向(要旨)】

- ◆ 設備投資の「予定あり」と回答した企業の割合：27.2%
- ◆ 1社当たり平均設備投資予定額：9,600万円
- ◆ 設備投資目的は「更新・維持・補修」が中心。

平成19年8月

株式会社荘銀総合研究所

山形県の景気動向

1. 概況

県内企業の業況は、自社の業況判断を示すDI値（「自社の業況」DI値）でみて、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」DI値（前年同期比）は20.1となっており、前回調査時点（平成19年5月）と比べて25.3ポイント低下するなど、景気は弱含んでいる。

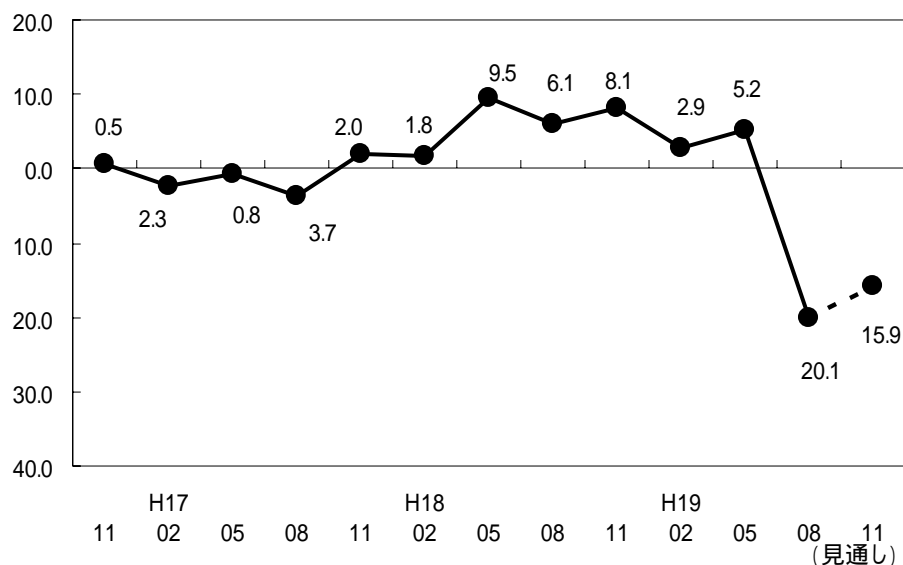
業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が15.9となるなど、引き続き低調に推移する見込み。

各DI値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 18.11	8.1	(9.9)	6.5	2.2	11.0	8.6
H 19.02	2.9	(3.9)	3.6	10.1	0.5	9.3
H 19.05	5.2	(1.0)	1.2	5.9	0.0	6.6
H 19.08	20.1	(14.5)	13.5	19.6	4.8	13.1
H 19.11(見通し)	15.9	(-)	13.1	19.0	3.1	24.9

「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ値。

「自社の業況」DI値（前年同期比）の推移



2. 業種別の動向

(1) 建設業

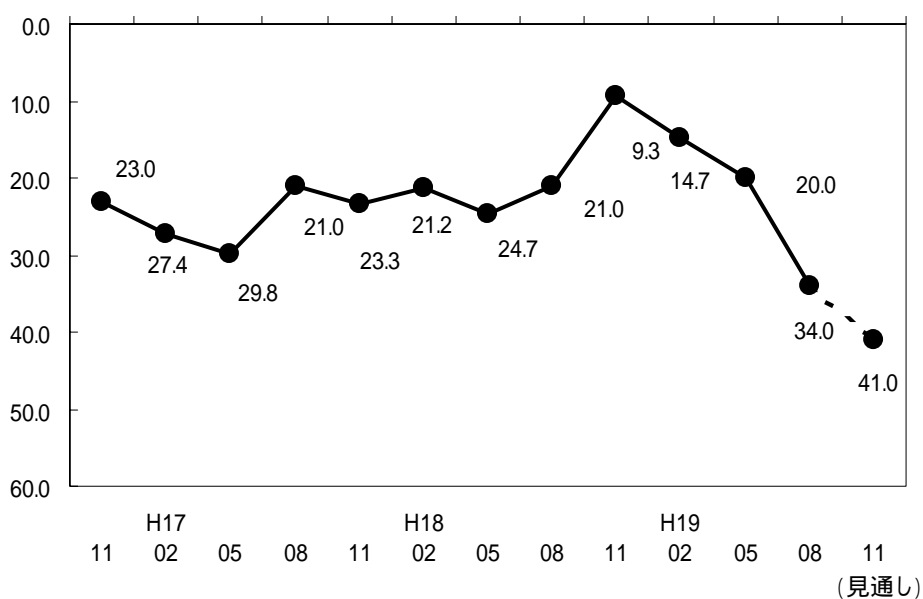
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は 34.0 となっており、前回調査時点と比べて 14.0 ポイント低下するなど、依然として低迷している。

業況の先行き見通しは、自社の業況 D I 値が 41.0 となっており、業況のさらなる悪化が見込まれる。

各 D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		完成	営業	手持	人員	資金
		(前期比)	工事高	利益	工事高	人手	繰り
H 18.11	9.3	(0.0)	10.3	29.9	9.3	17.6	24.8
H 19.02	14.7	(8.4)	15.8	30.6	11.6	12.7	27.4
H 19.05	20.0	(21.0)	14.3	24.7	18.0	16.2	18.1
H 19.08	34.0	(31.0)	35.0	29.0	33.0	22.0	27.0
H 19.11(見通し)	41.0	(-)	42.0	42.0	41.0	12.0	37.0

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(2) 製造業

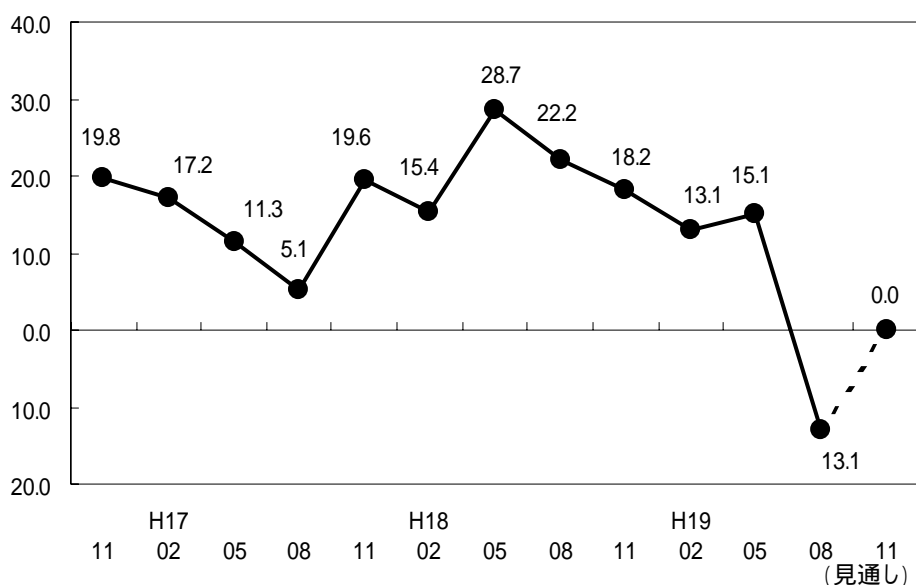
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は13.1となっており、前回調査時点と比べて28.2ポイント低下するなど、これまでの回復基調から一転悪化した。

業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が0.0と回復するなど、一進一退で低調に推移する見込み。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
		(前期比)						
H 18.11	18.2	(15.7)	18.2	5.8	63.7	3.3	7.5	2.5
H 19.02	13.1	(9.7)	9.6	8.8	69.3	0.9	7.9	7.0
H 19.05	15.1	(13.5)	0.0	0.0	69.8	14.3	6.4	0.8
H 19.08	13.1	(8.5)	8.5	12.4	73.6	9.3	0.0	3.1
H 19.11(見通し)	0.0	(-)	3.9	6.2	62.8	23.2	1.5	14.8

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(3) 卸・小売業

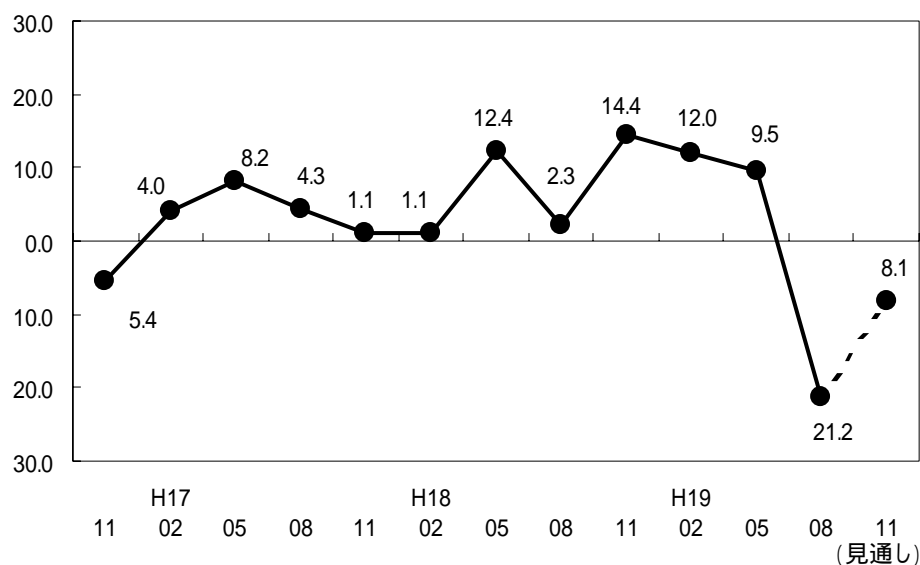
業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は 21.2 となっており、前回調査時点より 30.7 ポイント低下するなど、大幅に悪化した。

業況の先行き見通しは、自社の業況 D I 値が 8.1 となるなどいくぶん回復するものの、水面下は脱しきれない見込み。

各 D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
		(前期比)						
H 18.11	14.4	(8.4)	9.7	14.4	54.2	7.2	1.2	3.6
H 19.02	12.0	(9.8)	19.6	1.0	38.1	0.0	5.4	6.5
H 19.05	9.5	(3.8)	6.6	3.8	39.0	5.7	0.9	0.0
H 19.08	21.2	(9.1)	6.1	29.3	40.4	16.2	0.0	15.1
H 19.11(見通し)	8.1	(-)	1.0	10.1	39.4	27.2	1.0	21.2

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



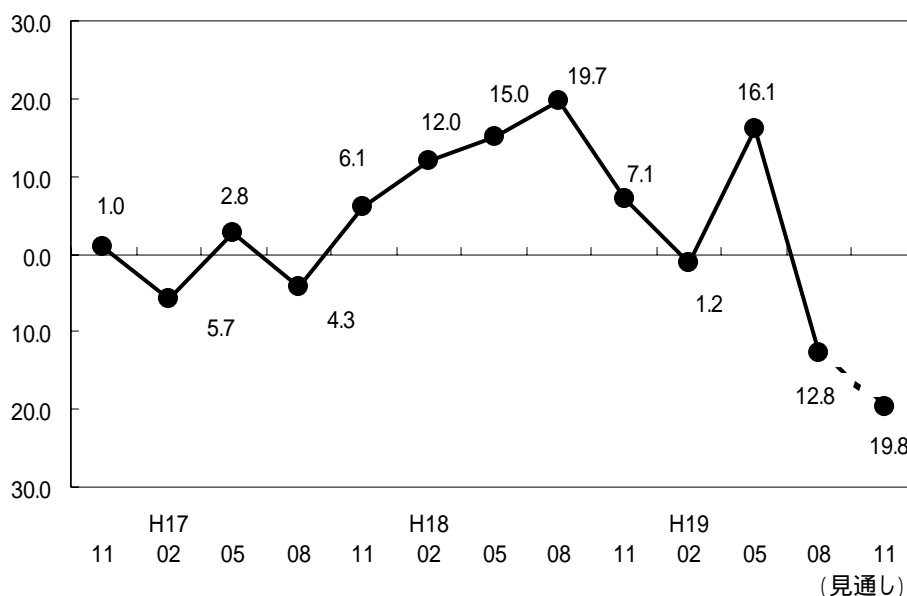
(4) サービス業

業況は、前年同期比、前期比ともに「悪い」超。「自社の業況」D I 値（前年同期比）は12.8となっており、前回調査時点より28.9ポイント低下するなど大幅に悪化した。業況の先行き見通しは、自社の業況D I 値が再び19.8となっており弱含む見込み。

各D I 値の動向

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 18.11	7.1	(15.5)	5.6	2.8	19.8	11.2
H 19.02	1.2	(3.5)	0.0	1.2	11.6	9.3
H 19.05	16.1	(5.8)	3.4	3.5	9.2	9.2
H 19.08	12.8	(10.5)	4.7	8.1	2.3	9.3
H 19.11(見通し)	19.8	(-)	18.6	22.1	0.0	30.3

「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



3. 地域別の動向

(1) 概況

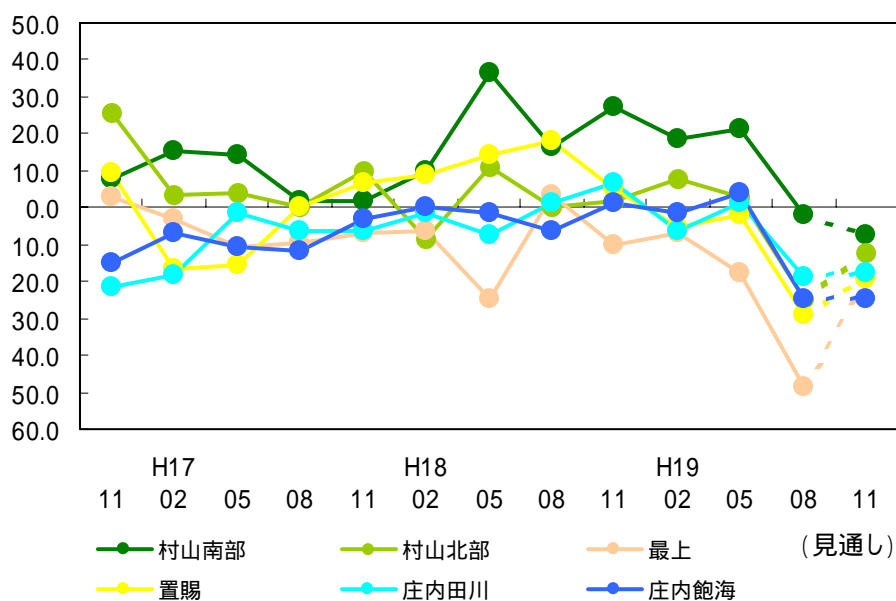
県内各地の景気動向は、「自社の業況」D I 値（前年同期比）が全ての地域で「悪い」超となった。いずれの地域でも悪化幅が非常に大きいうえに、これまで好調だった村山南部・北部でもマイナスに転じた。

業況の先行き見通しは、引き続き 6 地域で「自社の業況」D I 値が「悪い」超となるなど低調に推移する見込み。

地域別「自社の業況」D I 値（前年同期比）

(前年同期比) (調査時点)	村山 南部	村山 北部	最上	置賜	庄内 田川	庄内 飽海
H 18.11	27.2	1.8	10.4	5.0	6.4	1.3
H 19.02	18.4	7.6	7.1	5.0	6.2	1.5
H 19.05	21.3	3.1	17.7	1.8	1.2	3.7
H 19.08	1.8	24.6	48.4	29.1	14.0	25.0
H 19.11(見通し)	7.4	12.3	19.3	19.4	17.7	25.0

地域別「自社の業況」D I 値（前年同期比）の推移



(2) 各地の主要D I 値の動向

村山南部

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.05	21.3	(17.6)	16.7	11.1	4.6	5.5
H 19.08	1.8	(0.9)	3.6	11.0	5.5	0.9
H 19.11(見通し)	7.4	(-)	6.4	10.1	5.5	13.7

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.05	13.3	17.8	25.0	24.2
H 19.08	13.3	0.0	15.6	14.3
H 19.11(見通し)	26.6	3.7	6.2	8.6

村山北部

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.05	3.1	(6.2)	3.1	14.1	6.2	4.7
H 19.08	24.6	(5.2)	14.1	22.8	5.2	5.3
H 19.11(見通し)	12.3	(-)	3.5	19.3	1.8	19.3

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.05	13.3	21.4	18.2	0.0
H 19.08	35.8	11.1	60.0	0.0
H 19.11(見通し)	35.8	3.7	10.0	33.3

最上

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.05	17.7	(20.6)	8.8	14.7	35.3	29.4
H 19.08	48.4	(38.7)	35.5	32.3	32.3	41.9
H 19.11(見通し)	19.3	(-)	6.5	32.3	16.2	32.2

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.05	55.5	28.6	20.0	25.0
H 19.08	68.8	37.5	0.0	33.3
H 19.11(見通し)	37.5	0.0	25.0	33.3

置賜

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.05	1.8	(3.7)	16.4	16.4	5.5	9.1
H 19.08	29.1	(17.7)	21.0	14.5	3.2	16.1
H 19.11(見通し)	19.4	(-)	16.1	14.5	9.7	30.6

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.05	16.6	10.0	13.3	37.5
H 19.08	23.1	31.8	29.4	30.0
H 19.11(見通し)	46.1	9.1	11.8	20.0

庄内田川

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.05	1.2	(8.5)	7.3	12.2	11.0	17.0
H 19.08	19.0	(17.7)	13.9	21.5	11.4	26.6
H 19.11(見通し)	17.7	(-)	20.2	21.5	8.9	32.9

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.05	17.4	0.0	9.1	23.1
H 19.08	21.8	36.4	0.0	13.4
H 19.11(見通し)	39.2	9.1	31.6	6.7

庄内飽海

(全業種)

(前年同期比) (調査時点)	自社の業況		売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
		(前期比)				
H 19.05	3.7	(3.7)	8.8	5.0	11.2	2.5
H 19.08	25.0	(25.0)	22.4	26.3	2.7	10.6
H 19.11(見通し)	25.0	(-)	22.4	27.6	2.6	28.9

(業種別「自社の業況」D I 値)

(前年同期比) (調査時点)	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
H 19.05	22.8	21.0	5.0	26.3
H 19.08	42.1	17.4	29.5	58.8
H 19.11(見通し)	57.9	0.0	0.0	47.0

・景気の天気図

天気図とは、地域別・業種別に「自社の業況」DI値（前年同期比）を5段階に分けて図解したものです。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

特に好調 DI 30	好調 30 > DI 10	まあまあ 10 > DI 10	不振 10 > DI 30	きわめて不振 30 > DI

前期の概況（平成19年5月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	上置	賜	庄内田川	庄内飽海
全業種								
建設業								
製造業								
卸・小売業								
サービス業								

今期の概況（平成19年8月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	上置	賜	庄内田川	庄内飽海
全業種								
建設業								
製造業								
卸・小売業								
サービス業								

来期の見通し（平成19年8月調査）

	山形県	村山南部	村山北部	最上	上置	賜	庄内田川	庄内飽海
全業種								
建設業								
製造業								
卸・小売業								
サービス業								

・特別調査：今年度の設備投資動向について

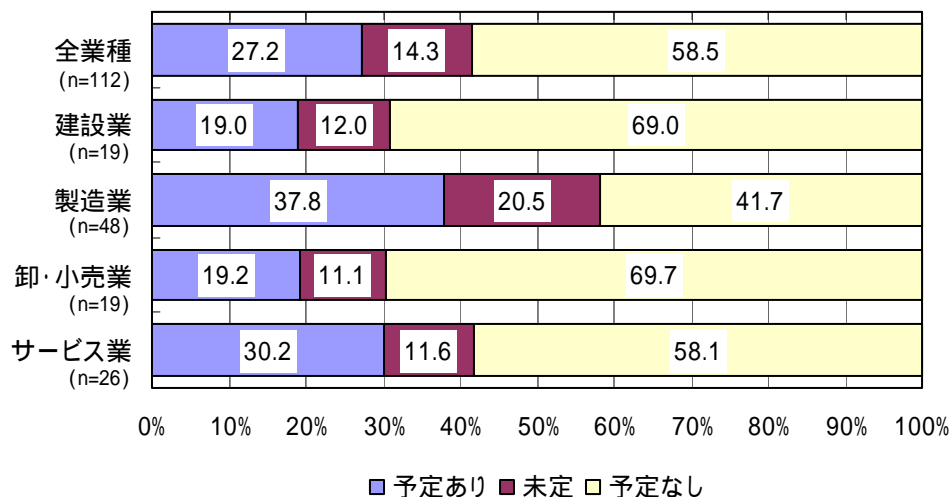
昨年度よりも設備投資は控えめだが...

今年度の設備投資動向についてたずねたところ、今年度中に設備投資を行う予定がある企業は、全業種の27.2%となった(図表 - 1)。

業種別では製造業で「予定あり」と回答した企業の割合が最も多く37.8%。続いてサービス業が30.2%となった。建設業、卸・小売業では、「予定あり」と回答した企業は約19.0%であった。

また、「予定あり」と回答した企業の割合から「予定なし」と回答した企業の割合を差し引いたDI値は、昨年より低下しており、今年度は設備投資にやや消極的であるとみられる(図表 - 2)。

図表 - 1 業種別・設備投資予定



図表 - 2 業種別・設備投資予定動向DI値

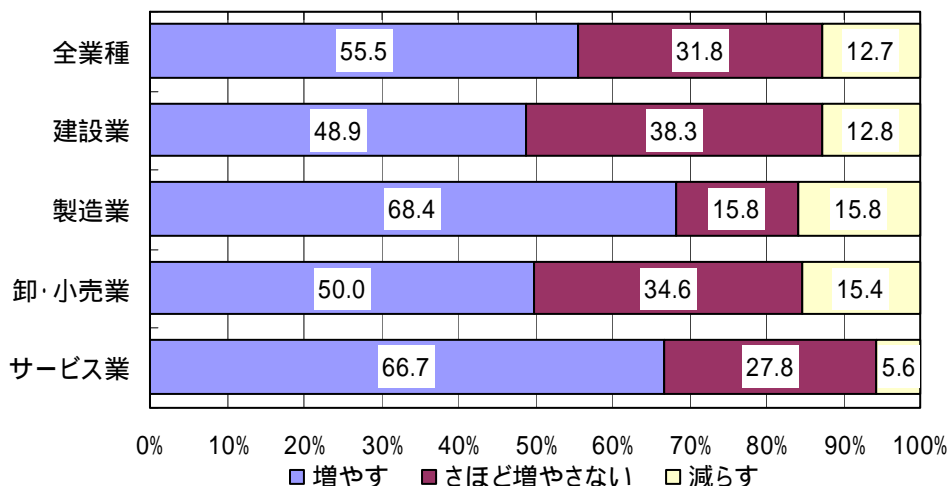
	H18.8	H19.8
全業種	24.0	31.3
建設業	51.0	50.0
製造業	9.1	3.9
卸・小売業	40.9	50.5
サービス業	21.5	27.9

DI値 = 「予定あり」の構成比 - 「予定なし」の構成比

一部の企業で増額も検討中

一方、設備投資の予定があると回答した企業に対し、昨年と比較した場合の今年度設備投資額の動向についてたずねたところ、「増やす」と回答した企業の割合が多く、全業種で見ると55.5%の企業が増額を予定していることがわかった（図表 - 3）。

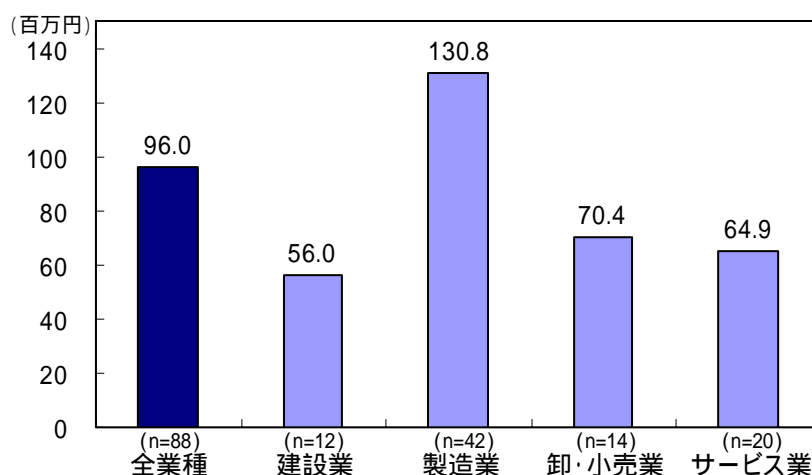
図表 - 3 業種別・昨年度比設備投資業績



設備投資予定額は平均 9,600 万円

なお、1社当たりの投資予定額は、全業種で平均 9,600 万円となっている（図表 - 4）。特に、製造業における投資額の大きさが目立つ。

図表 - 4 業種別・今年の設備投資予定額（1社当たり平均）

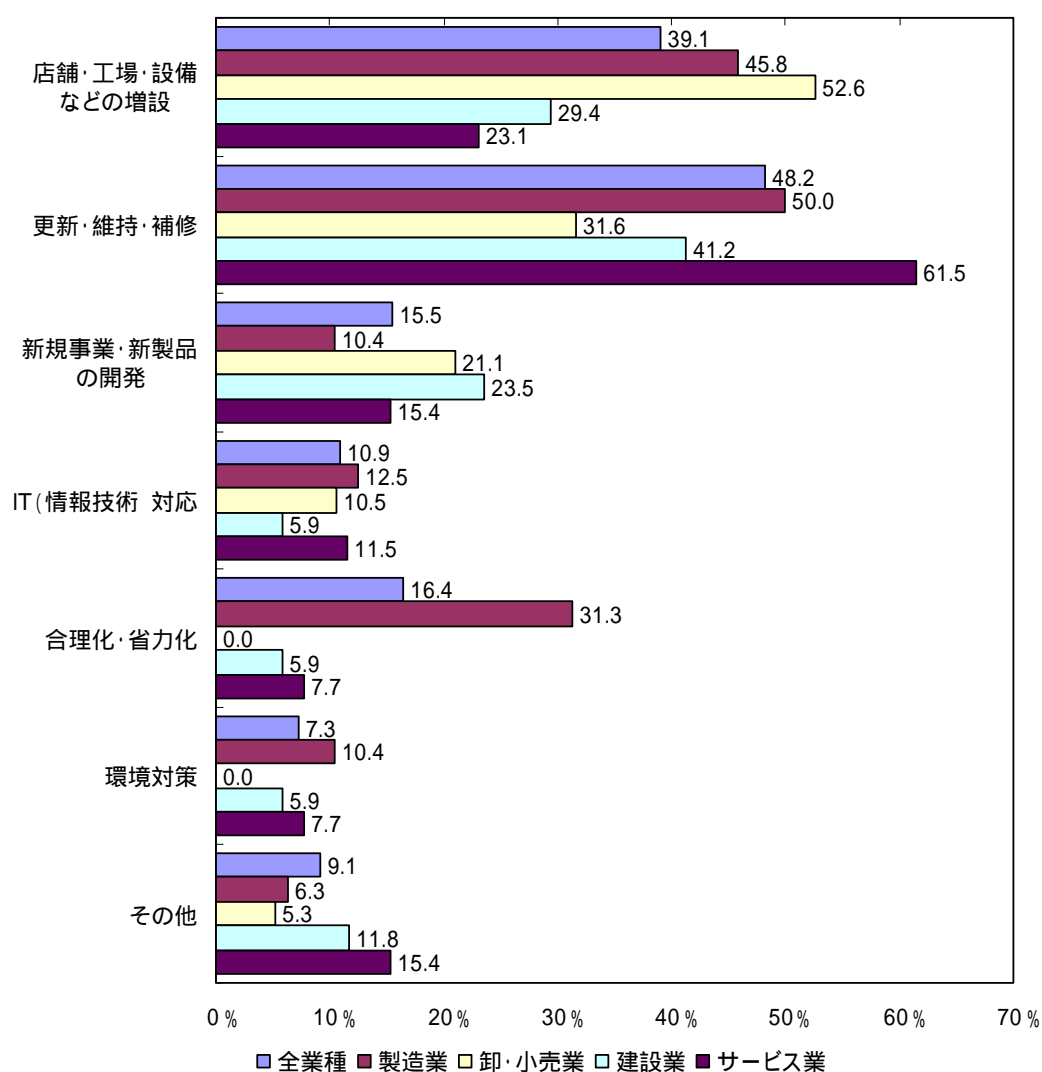


目的は「更新・維持・補修」が中心

設備投資の目的は、全業種で「更新・維持・補修」が最も多く 48.2%、続いて「店舗・工場・設備などの増設」が 39.1%となっている（図表 - 5）。

業種別では、製造業、建設業、サービス業で「更新・維持・補修」が最も多く、卸・小売業では「店舗・工場・設備などの増設」が最も多かった。また、卸・小売業と建設業で「新規事業・新製品の開発」への投資も目立った。

図表 - 5 業種別・設備投資の目的（複数回答）



・ 調査の概要

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部FAXを利用）。

● 調査期間

平成19年8月1日（水）～10日（金）

● 調査の対象企業数および有効回答数（回答率）

調査対象企業数：751社

有効回答企業数：414社（回答率55.1%）

● 地域区分

図表 - 1 の通り。

図表 - 1 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。定例調査の項目は図表 - 2 の通り。

図表 - 2 定例調査項目と回答の選択肢

項目	選択肢（択一方式）		
自社の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況（共通項目）	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高（建設業を除く）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益（共通項目）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手（共通項目）	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り（共通項目）	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格（製造業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製（商）品の仕入価（卸・小売業のみ）	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況（製造業）	1. 増えた	2. さほど増えていない	3. 減った
手持工事高（建設業）	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

（注）各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採っている。

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り。

例) 自社の業況DI値

= (「1. 良い」と回答した企業の割合) - (「3. 悪い」と回答した企業の割合)

たとえば「自社の業況DI値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる。

ちなみに、他のDI値についても同様に、選択肢「1. 」(表4「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

<お知らせ>

F S N会員専用ホームページ(<http://www.net.sfsi.co.jp/cgi-bin/fsn.cgi>)にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ(<http://www.sfsi.co.jp/>)「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

以 上

<お問い合わせ先>

株式会社荘銀総合研究所

研究開発グループ 熊本/齋藤(信)/草苅

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL: 023-626-9017

FAX: 023-626-9038

E-mail: fsn@sfsi.co.jp

URL: <http://www.sfsi.co.jp/>